

第 35 回 日本緑内障学会

ここまで見える
眼底カメラ

魅 せ る
視野検査

こんな時便利な
緑 内 障
レーザー治療

2024.9.21^{sat} 7:50-8:40

モーニングセミナー MS01
アクリエひめじ 2F 中ホール 第2会場

座長のことば

近年、緑内障における診断と治療の進歩は目覚しく、多様化しています。本セミナーでは3人のエキスパートの先生より、緑内障治療の選択肢および診断ツールに関する最新知見をお話して頂きます。緑内障治療では患者の視機能を保つために、症例に応じてメリット・デメリットを判断し、様々な治療選択肢の中から適切に選択し、施行することが大切です。根本先生には、施行が比較的容易で、合併症が少ないことから、適応拡大が期待されているマイクロパルス緑内障治療について、自験例を示しながらその効果と留意点について講演して頂きます。また、緑内障診断においては、OCTが非常に大きな役割を果たすようになったものの、眼底所見や視野検査などから総合的に判断することが求められています。山下先生にはスリットスキャン方式採用の眼底カメラによる眼底写真での検査について、実際の症例を提示しながらよりよい活用法について講演して頂きます。溝上先生にはアイモ vifa による視野検査について、患者さんの反応、検査員の反応を含めてこんな時便利というお勧めの活用法について講演して頂きます。本セミナーがご参加の先生方の明日からの日常診療の一助となれば幸いです。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。



座長
本庄 恵 先生
(東京大学)



根本 穂高 先生
(東京大学)

使用経験から語る
CYCLO G6 による緑内障診療



山下 高明 先生
(山下眼科クリニック / 鹿児島大学)

見える分かる眼底写真



溝上 志朗 先生
(愛媛大学)

アイモ vifa 私の使い方

TOPCON Healthcare